

令和元年第3回竜王町議会定例会（第4号）

令和元年8月30日

午後1時00分開議

於 議 場

**1 議 事 日 程（第4日）**

- 日程第 1 議第40号 竜王町立幼稚園条例の一部を改正する条例  
(教育民生常任委員会委員長報告)
- 日程第 2 議第54号 竜王町地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例  
(総務産業建設常任委員会委員長報告)
- 日程第 3 議第56号 令和元年度竜王町一般会計補正予算（第3号）  
(予算決算常任委員会委員長報告)
- 日程第 4 議第58号 令和元年度竜王町国民健康保険事業特別会計（施設勘定）  
補正予算（第1号）  
(予算決算常任委員会委員長報告)
- 日程第 5 議第62号 平成30年度竜王町水道事業会計決算認定について  
(予算決算常任委員会委員長報告)
- 日程第 6 議第63号 平成30年度竜王町下水道事業会計決算認定について  
(予算決算常任委員会委員長報告)
- 日程第 7 議会広報特別委員会委員長報告
- 日程第 8 地域活性化特別委員会委員長報告
- 日程第 9 所管事務調査報告  
(議会運営委員会委員長報告)  
(総務産業建設常任委員会委員長報告)  
(教育民生常任委員会委員長報告)
- 日程第10 議員派遣について

## 2 会議に出席した議員（12名）

1番	菱田三男	2番	小西久次
3番	若井猛志	4番	森島芳男
5番	森山敏夫	6番	内山英作
7番	松浦博	8番	古株克彦
9番	貴多正幸	10番	山田義明
11番	岡山富男	12番	小森重剛

## 3 会議に欠席した議員（なし）

## 4 地方自治法第121条の規定により説明のため会議に出席した者

町長	西田秀治	教育委員会教育長	甲津和寿
監査委員	貴多正幸	副町長	杼木栄司
総務主監	山添みゆき	住民福祉主監	奥浩市
産業建設主監	井口和人	会計管理者	小森久美子
総務課長	川嶋正明	未来創造課長	関司明德
税務課長	西川良浩	生活安全課長	寺嶋要
住民課長	森岡道友	福祉課長	間宮泰樹
健康推進課長	中原江理	発達支援課長	西村忠晃
農業振興課長	中山孝彦	商工観光課長	岩田宏之
建設計画課長	森徳男	上下水道課長	込山佳寛
教育次長兼 生涯学習課長	井口清幸	教育総務課長	町田啓司
学校教育課長	武久雅則		

## 5 職務のため議場に出席した者

議会事務局長	知禿雅仁	書	記	中野ゆかり
--------	------	---	---	-------

開議 午後1時00分

○議長（小森重剛） 皆さん、こんにちは。ただいまの出席議員数は12人であり  
ます。よって、定足数に達していますので、これより令和元年第3回竜王町議会  
定例会を再開いたします。

これより本日の会議を開きます。

本日の議事日程は、お手元に配付のとおりであります。

それでは、これより議事に入ります。

~~~~~ ○ ~~~~~

### 日程第 1 議第 40号 竜王町立幼稚園条例の一部を改正する条例

○議長（小森重剛） 日程第1 議第40号、竜王町立幼稚園条例の一部を改正す  
る条例を議題といたします。

本案は、教育民生常任委員会に審査を付託しておきましたので、その審査の経  
過と結果について委員長より報告を求めます。

教育民生常任委員会委員長、山田義明議員。

○教育民生常任委員会委員長（山田義明） 議第40号、教育民生常任委員会報告。

令和元年8月30日

委員長 山田 義明

去る8月22日の本会議におきまして、本委員会に審査の付託を受けました、  
議第40号、竜王町立幼稚園条例の一部を改正する条例についての審査の経過と  
結果を報告します。

本委員会は、8月26日午前9時より第1委員会室において、委員全員出席の  
もと会議を開き、町執行部より西田町長、甲津教育委員会教育長、井口教育次長、  
武久学校教育課長、町田教育総務課長及び担当職員の出席を求め、説明を受け審  
査いたしました。

竜王町立幼稚園条例の一部を改正する条例は、少子化によって子どもが同じ年  
代の仲間と遊ぶ場、機会が減少していること及び核家族化や男女共同参画社会の  
進展とともに保育ニーズが増加していることから、幼稚園における通常保育時間  
の延長、預かり保育の実施期間の拡充等、また、それに伴う預かり保育料等の改  
正を行うため、条例の一部を改正するとの説明を受けました。

主な質疑応答。

問) 3歳児の保育時間の延長等による職員の確保はできているのか。

答) 来年度から3歳児の保育時間が延びたり、長期休暇中の預かり保育の時間

がふえたりするが、早朝保育や延長保育はしないため、従来と同じ体制で対応できると考えております。

以上、慎重審査の結果、全員賛成で原案のとおり可決すべきものと決定しました。

以上でございます。

**○議長（小森重剛）** ただいま、教育民生常任委員会委員長より、審査の経過と結果の報告がございました。

これより、委員長報告に対する質疑に入ります。

質疑ありませんか。

[「なし」の声あり]

**○議長（小森重剛）** ないようでありますので、質疑はこれで終結いたします。

これより、討論に入ります。

討論ありませんか。

[「なし」の声あり]

**○議長（小森重剛）** ないようでありますので、討論はこれで終結いたします。

これより、採決を行います。

日程第1 議第40号を委員長報告のとおり決定することに賛成諸君の起立を求めます。

[賛成者起立]

**○議長（小森重剛）** 起立全員であります。よって、日程第1 議第40号は委員長報告のとおり可決されました。

~~~~~ ○ ~~~~~

## **日程第 2 議第54号 竜王町地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例**

**○議長（小森重剛）** 日程第2 議第54号、竜王町地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例を議題とします。

本案は、総務産業建設常任委員会に審査を付託しておきましたので、その審査の経過と結果について委員長より報告を求めます。

総務産業建設常任委員会委員長、古株克彦議員。

**○総務産業建設常任委員会委員長（古株克彦）** 議第54号、総務産業建設常任委員会報告。

令和元年8月30日

委員長 古株 克彦

去る8月22日の本会議において、本委員会に審査の付託を受けました議第54号、竜王町地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例について、審査の経過と結果を報告します。

本委員会は、8月23日午後1時より第1委員会室において、委員全員出席のもと会議を開き、杼木副町長、井口産業建設主監、森建設計画課長、並びに関係職員の出席を求め、説明を受け審査いたしました。

竜王町地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例は、竜王インターチェンジ周辺地区において住宅地用途の建築を制限するための地区計画が必要であったため、条例を定めるものです。

加えて、これまで地区計画ごとに条例を制定しておりましたが、地区計画の数もふえてきたことから、条例の適正管理のために、これまで制定した条例と一本化して制定する新規条例です。

これまでの地区計画とは、1、竜王町薬師地区地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例、2、竜王町松陽台地区地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例、3、竜王町総合庁舎周辺地区地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例、4、竜王町美松台地区地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例、5、竜王町山面工業団地地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例、6、竜王町須恵地区地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の6条例で、全て廃止になります。

以下は、主な質疑応答です。

問) 住宅団地で地区計画のあるところとないところがあるが。

答) 当時、開発できる場所については、地区計画ではなく、開発できる基準や住宅の再開発されたところです。IBMグラウンド跡地の松陽台地区が住宅系の地区計画としては初めてです。

以上、慎重審査の結果、全員賛成で原案のとおり可決すべきものと決しましたので報告します。

**○議長（小森重剛）** ただいま、総務産業建設常任委員会委員長より、審査の経過と結果の報告がございました。

これより、委員長報告に対する質疑に入ります。

質疑ありませんか。

[「なし」の声あり]

○議長（小森重剛） ないようでありますので、質疑はこれで終結いたします。  
これより、討論に入ります。  
討論ありませんか。

[「なし」の声あり]

○議長（小森重剛） ないようでありますので、討論はこれで終結いたします。  
これより、採決を行います。  
日程第2 議第54号を委員長報告のとおり決定することに賛成諸君の起立を求めます。

[賛成者起立]

○議長（小森重剛） 起立全員であります。よって、日程第2 議第54号は委員長報告のとおり可決されました。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第 3 議第56号 令和元年度竜王町一般会計補正予算（第3号）

日程第 4 議第58号 令和元年度竜王町国民健康保険事業特別会計（施設勘定）  
補正予算（第1号）

日程第 5 議第62号 平成30年度竜王町水道事業会計決算認定について

日程第 6 議第63号 平成30年度竜王町下水道事業会計決算認定について

○議長（小森重剛） 日程第3 議第56号、令和元年度竜王町一般会計補正予算（第3号）から日程第6 議第63号、平成30年度竜王町下水道事業会計決算認定についての4議案を一括議題といたします。

本案は、予算決算常任委員会に審査を付託しておきましたので、その審査の経過と結果について委員長より報告を求めます。

予算決算常任委員会委員長、松浦 博議員。

○予算決算常任委員会委員長（松浦 博） 議第56号、58号、62号、63号、  
予算決算常任委員会報告。

令和元年8月30日

委員長 松浦 博

去る8月22日の本会議において、本委員会に審査の付託を受けました、議第56号、令和元年度竜王町一般会計補正予算（第3号）、議第58号、令和元年度竜王町国民健康保険事業特別会計（施設勘定）補正予算（第1号）及び議第62号、平成30年度竜王町水道事業会計決算認定について、並びに議第63号、平成30年度竜王町下水道事業会計決算認定についての合計4議案について、審

査の経過と結果を報告します。

本委員会は、8月26日午後1時より301会議室において、委員1名欠席のもと西田町長、甲津教育委員会教育長、関係主監、次長及び関係職員の出席を求め、説明を受け審査いたしました。

1、議第56号、令和元年度竜王町一般会計補正予算（第3号）は、既決の歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ1億2,432万4,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ65億8,114万5,000円に改めるものです。

主な質疑応答は。

総務部門。

問) 庁舎の耐震化についてI s値0.75を目標値としているが、どの程度の地震の震度を想定しているのか。また、構造上耐えられるのか。

答) 震度7規模を想定しています。I s値が0.6を上回れば、地震に対して倒壊の危険性が低いとされており、建築基準法を満たすI s値も0.6となっています。

国の定める基準では、構造体Ⅱ類に分類される庁舎等、災害対策活動に必要な施設に関しては、重要度係数1.25を乗じてI s値0.75となっています。

問) 耐震診断の結果、X軸（南北方向）が弱いとしているが、ブレースで補強する場所が、南側の窓口になるのはなぜか。

答) この庁舎の壁や柱など全体構造から、揺れに弱いところをどのように補強するか検討した結果、庁舎南側の3カ所にK型ブレースを入れて補強するという計画を作成し、妥当であることを判定いただいています。

産業建設部門。

問) 地元食材提供施設とは、どのような改修をされるのか。

答) 今年度、設計業務の中で協議しているところですが、地元食材提供施設については、ジェラート販売コーナーで軽食等も提供できないかという検討もしており、あわせて2階の軽食、ジェラートを食べていただけるスペースを充実させるため、改修していきたいと思っております。

問) 交通安全対策費について、車どめポールを設置するが、車が衝突しても耐えられるのか。

答) 車どめポールは、国の基準が正式にあるものではないが、参考として企業が車どめポールの実証実験をされております。その中で、車どめポールに一定の

効果があると国・県から情報をいただいております、今できる対策として車どめポールにより対応していきたいと考えています。

教育委員会部門。

問) 図書館の省電力化事業で、EMS工事とはどのような工事か。

答) エアコンを制御できる機能を用いて、人がいるところに集中して冷気や暖かい空気を吹き出すことで、冷暖房の効率を上げることができる工事をします。

住民福祉部門。

特に質疑はなし。

2、議第58号、令和元年度竜王町国民健康保険事業特別会計（施設勘定）補正予算（第1号）は、既決の歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ医科3,727万3,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ医科4,987万3,000円に改めるものです。

主な意見。

土地の収用について、議会との事前協議が必要であり、今後の事業実行に際して土地の高騰を危惧する。

3、議第62号、平成30年度竜王町水道事業会計決算認定について。

平成30年度竜王町水道事業会計利益剰余金処分及び決算については、第3条収益的収入3億4,805万7,730円、収益的支出3億3,103万7,372円で、純利益は1,702万358円。

第4条資本的収入は8,415万280円で、資本的支出は1億2,469万479円で、差し引き4,054万199円の不足となり、当年度分消費税資本的収支調整額、並びに当年度及び過年度分損益勘定留保資金で補填を行いました。

主な質疑応答は。

問) 土地について幾つか水源地処分をしたが、有形の固定資産に残っている。この資産は、草刈り等で経費が必要であり、早くから処分するとされていたが、処分できていない現状についての考えはどうか。

答) 廃止した水源地については、速やかに除却をして、それに対する収入を得るか、または有効に活用するなどがあります。現在、その資産の取り扱いについて一般会計部局との調整などを行ってまいりましたが、結論には至っていないため、水道事業で管理しています。

4、議第63号、令和元年度竜王町下水道事業会計決算認定について。

平成30年度竜王町下水道事業会計利益剰余金処分及び決算については、第3

条収益的収入5億6,110万2,257円、収益的支出5億505万4,285円で、純利益は5,604万7,972円。

第4条資本的収入は1億9,226万4,620円で、資本的支出は3億9,223万5288円で、差し引き1億9,997万668円の不足となり、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額、並びに当年度分損益勘定留保資金及び引き継ぎ現金で補填を行いました。

質疑は特にありませんでした。

以上、慎重審査の結果、議第56号、62号、63号は全員賛成、議第58号は賛成多数にて、原案のとおり可決すべきものと決しましたので報告します。

今回をもって予算決算常任委員会所管事務調査を終了しますが、今日まで各委員から出された意見や要望事項については、その趣旨を尊重され、実現に御尽力いただくことを強くお願いし、調査活動を終わらせていただきます。執行部の皆さんの御協力、ありがとうございました。

**○議長（小森重剛）** ただいま、予算決算常任委員会委員長より、審査の経過と結果の報告がございました。

これより、委員長報告に対する質疑に入ります。

質疑ありませんか。

[「なし」の声あり]

**○議長（小森重剛）** ないようでありますので、質疑はこれで終結いたします。

これより、討論に入ります。

討論ありませんか。

[「なし」の声あり]

**○議長（小森重剛）** ないようでありますので、討論はこれで終結いたします。

これより、採決を行います。

採決は、1議案ずつ行います。

お諮りいたします。

日程第3 議第56号を委員長報告のとおり決定することに賛成諸君の起立を求めます。

[賛成者起立]

**○議長（小森重剛）** 起立全員であります。よって、日程第3 議第56号は委員長報告のとおり可決されました。

日程第4 議第58号を委員長報告のとおり決定することに賛成諸君の起立を

求めます。

[賛成者起立]

○議長（小森重剛） 起立多数であります。よって、日程第4 議第58号は委員長報告のとおり可決されました。

日程第5 議第62号を委員長報告のとおり決定することに賛成諸君の起立を求めます。

[賛成者起立]

○議長（小森重剛） 起立全員であります。よって、日程第5 議第62号は委員長報告のとおり可決されました。

日程第6 議第63号を委員長報告のとおり決定することに賛成諸君の起立を求めます。

[賛成者起立]

○議長（小森重剛） 起立全員であります。よって、日程第6 議第63号は委員長報告のとおり認定することに決定されました。

予算決算常任委員会の委員各位には、長期間にわたり町の事業推進にとって必要な予算、並びに決算にかかわる所管調査に鋭意お取り組みをいただき、大変御苦労さまでございました。この間における委員各位の活動に対し、衷心より厚く御礼を申し上げます。

~~~~~ ○ ~~~~~

## 日程第 7 議会広報特別委員会委員長報告

○議長（小森重剛） 日程第7 議会広報特別委員会委員長報告を議題といたします。

議会広報特別委員会委員長、内山英作議員。

○議会広報特別委員会委員長（内山英作） 議会広報特別委員会報告。

令和元年8月30日

委員長 内山 英作

本委員会は、令和元年第2回定例会閉会後の6月26日、7月3日、10日、17日に委員会を開催、議会だより188号の編集作業を行い、8月1日に発行しました。主な記事の内容は、令和元年度一般会計補正予算、委員会活動、一般質問、追跡コーナー、いきいき人生などです。

次に、本委員会は、本定例会中の8月22日、委員会を開催し、前回の編集作業に基づいて3つの留意点を確認しました。その後、発行する議会だより189

号の編集内容について協議し、ページ数の決定、原稿作成の役割分担及び編集日程を決めました。

なお、編集のための委員会は、定例会閉会後の9月3日、17日、24日、27日の4日間開催し、10月15日に発行することを決定しました。

また、本委員会は、7月11日に兵庫県播磨町議会議会広報公聴常任委員会より、議会だよりの編集・発行について研修の受け入れをいたしました。

以上、議会広報特別委員会報告といたします。

なお、議長には、閉会中の議会広報特別委員会活動につきまして、許可くださいますようお願いいたします。

**○議長（小森重剛）** ただいまの議会広報特別委員会委員長報告に対して、質問がありましたら発言願います。

[「なし」の声あり]

**○議長（小森重剛）** ないようでありますので、質問はこれで終結いたします。

議会広報特別委員会の委員各位におかれましては、長期間にわたり毎定例会の審議内容を議会だよりにして発行していただきました。大変御苦労さまでございました。

各委員のこの間における活動に対し、心から厚く御礼を申し上げます。

なお、委員長報告のとおり、閉会中も継続して調査活動を認めることにいたしたいと思いますが、これに御異議ありませんか。

[「異議なし」の声あり]

**○議長（小森重剛）** 御異議なしと認めます。よって、委員長報告のとおり、閉会中も継続して調査活動を行うことと決定しました。

~~~~~ ○ ~~~~~

## **日程第8 地域活性化特別委員会委員長報告**

**○議長（小森重剛）** 日程第8 地域活性化特別委員会委員長報告を議題といたします。

地域活性化特別委員会委員長、貴多正幸議員。

**○地域活性化特別委員会委員長（貴多正幸）** 地域活性化特別委員会報告。

令和元年8月30日

委員長 貴多 正幸

本委員会は、8月23日午前9時より委員全員出席のもと、町執行部より西田町長、山添総務主監、井口産業建設主監及び関係課長等の出席を求め、調査を行

いました。

1、滋賀竜王工業団地の進捗状況、並びに公共交通運行状況について。

岩田商工観光課長より、滋賀竜王工業団地の企業誘致に係る進捗状況について、現在、7区画中4区画において売買契約が締結しており、そのうち1社が操業している。残りの区画についても現時点で5社から問い合わせが来ており、全区画が埋まるよう鋭意努力をしているとの説明を受けた。

また、中江政策推進係長より、路線バス岡屋線を延伸し、滋賀竜王工業団地まで乗り入れを開始した経過、また、通学定期補助等について説明を受けた。

主な質疑応答。

問) 滋賀竜王工業団地内の竣工予定の立っていない2番と4番の区画について、何年以内に竣工しなければいけない等の取り決めはあるのか。

答) 滋賀竜王工業団地の分譲要綱により、4年以内に操業していただくということで、令和4年までに操業していただくよう、公社の方からも説明していただいています。

問) 今年度、県の機構改革、人事配置の変更があったとの説明を受けたが、町と県の調整はどのようになっているのか。

答) 竜王町、滋賀県土地開発公社、滋賀県総合企画部新駅問題・特定プロジェクト対策室、滋賀県商工観光労働部企業誘致推進室の4者が集まり、毎月定例会をし、密に連携をとり、4月以降進めているところです。

問) 通学定期補助等については、利用者も増加傾向にあるが、バス会社はどのように感じておられるのか。

答) 通学定期補助と夜間特別便について、バス会社や県の交通部局、国土交通省の事務所も含め、公共交通の利用者が減っている中、利用者をふやすための施策として、この施策は非常によい制度であると評価をいただいています。

以上、地域活性化特別委員会報告とします。

なお、第16期議会の地域活性化特別委員会は今回をもって終了しますが、今日まで各委員から出された意見や要望事項については、その趣旨を尊重され、実現に向け御尽力いただきますよう強くお願いいたします。

最後になりましたが、今日までの調査に対しまして、誠意ある対応をしていただきました執行部の皆様に対し、心から御礼を申し上げます。ありがとうございました。

**○議長（小森重剛）** ただいまの地域活性化特別委員会委員長報告に対して、質問

がありましたら発言願います。

[「なし」の声あり]

○議長（小森重剛） ないようでありますので、質問はこれで終結いたします。

地域活性化特別委員会の委員各位におかれましては、長期間にわたり本町の定住促進を中心としたまちづくりを推進する上で、大変重要、かつ根幹にかかわる案件の調査活動に努めていただき、大変御苦勞さまでございました。各委員のこの間における活動に対し、心から厚く御礼を申し上げます。

~~~~~ ○ ~~~~~

## 日程第9 所管事務調査報告

（議会運営委員会委員長報告）

（総務産業建設常任委員会委員長報告）

（教育民生常任委員会委員長報告）

○議長（小森重剛） 日程第9 所管事務調査報告を議題といたします。

各委員長より、報告を求めます。

議会運営委員会委員長、小西久次議員。

○議会運営委員会委員長（小西久次） 議会運営委員会報告。

令和元年8月30日

委員長 小西 久次

本委員会は、7月22日午前8時45分より第1委員会室において、委員全員出席のもと委員会を開催し、令和元年第3回定例会の日程について協議し、日程案を作成しました。また、令和元年第1回臨時会の開催について協議しました。

次に本委員会は7月31日午前8時30分より第1委員会室において、委員全員出席のもと委員会を開催し、西田町長、山添総務主監、川嶋総務課長ほか担当職員の出席を求め、西田町長挨拶の後、令和元年第1回臨時会の提案事件について説明を受けました。今回提案される案件は、補正予算1件です。

その後、同議事の進行について審議し、会議録署名議員の指名、会期を7月31日1日限りとすること及び議案の処理について審査決定しました。

次に、本委員会は8月6日午前9時より第1委員会室において、委員全員出席のもと委員会を開催し、西田町長、山添総務主監、川嶋総務課長ほか担当職員の出席を求め、西田町長挨拶の後、令和元年第3回定例会の提案事件について執行部より説明を受けました。今回提案される案件は、条例19件、補正予算6件、決算認定2件、人事案件6件、その他8件、報告事項2件の計43件です。

また、同議事の進行について審議し、会議録署名議員の指名、会期を8月13日から8月30日までの18日間とすること及び議案の処理について審査決定しました。

次に、本委員会は、8月13日午後1時5分より第1委員会室において、委員全員出席のもと委員会を開催し、西田町長、山添総務主監、川嶋総務課長ほか担当職員の出席を求め、令和元年第3回定例会の提案事件、議第54号、竜王町地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の追加説明を受けました。

次に、本委員会は、8月20日午前9時より第1委員会室において、委員全員出席のもと委員会を開催し、令和元年第3回定例会第3日の一般質問について8議員から提出された12問について、会議の再開時間及び質問の順序等を審議しました。第3日の会議は、午前9時から再開し、会議は通しで行い、会議時間の延長もあり得ること、質問の順序は質問通告書の提出順とすることに決定しました。

以上、議会運営委員会報告とします。

**○議長（小森重剛）** 次に、総務産業建設常任委員会委員長、古株克彦議員。

**○総務産業建設常任委員会委員長（古株克彦）** 総務産業建設常任委員会所管事務調査報告。

令和元年8月30日

委員長 古株 克彦

本委員会は、8月23日午後1時より第1委員会室において、委員全員出席のもと杼木副町長、山添総務主監、寺嶋生活安全課長及び関係職員の出席を求め、所管事務調査を行いました。

竜王町防災行政情報システム整備工事に係るスケジュール等について。

1、入札執行について。

事後審査型条件付一般競争入札で、株式会社富士通ゼネラル近畿情報通信ネットワーク営業部が4億5,792万円で落札しました。

2、整備概要については、①デジタル同報系防災行政無線、親局（無線室）整備一式、基地局設備（1局、防災スピーカー4台）、屋外拡声子局設備（36局、防災スピーカー81台）、再送信子局設備（3局、防災スピーカー6台）、戸別受信機（4,000台）。

②関連システムとして、スマートフォン防災情報連動システム一式、防災情報支援システム一式、戸別受信機管理システム一式。

3、整備スケジュールについて。

工期は、令和元年8月22日から令和3年3月15日。

主な質疑応答。

問) 再送信子局設備はどのような機能を果たすのか。

答) 戸別受信機の無線の届かないところは屋外アンテナを取りつけることから、極力屋外アンテナを取りつけずに、無線を入りやすくするための機能として再送信子局3局を設ける。

問) 有線放送のようにページングができる機能をつけると聞いているが、どのような方法ですか。

答) 自治会長にタブレットを配付し、タブレットから流せるようにします。

以上、総務産業建設常任委員会所管事務調査報告といたします。

なお、第16期議会の総務産業建設常任委員会は今回をもって終了いたしますが、その間、各委員から出された意見や要望事項について真摯に受けとめ、実現に向けて努力されることを強く希望します。

また、我々委員の意見に対しまして誠意をもって対応していただきましたことに、感謝申し上げます。

以上です。

**○議長（小森重剛）** 次に、教育民生常任委員会委員長、山田義明議員。

**○教育民生常任委員会委員長（山田義明）** 教育民生常任委員会所管事務調査報告。

令和元年8月30日

委員長 山田 義明

本委員会は、8月26日午前9時より第1委員会室で委員全員出席のもと、執行部より西田町長、甲津教育委員会教育長、井口教育次長、武久学校教育課長、町田教育総務課長ほか担当職員の出席を求め、所管事務調査を実施しました。

一人一人の子供たちの学ぶ力向上に向けて

平成31年度全国学力・学習状況調査の結果と課題、その後の取り組みについてです。

1、学力調査の結果について。

結果の概要。小学校では、国語は全国平均をやや下回ったが、県平均よりは上回り、昨年度より改善が見られた。特に「読む能力」では、全国平均を上回っている。「言語についての知識・理解・技能の力」の不十分さが課題である。今後、「徹底反復学習」による生きて働く基礎基本の力の定着に努める。

また、算数では全国・県平均ともに下回ったが、昨年度と比べて差は縮まった。「数量や図形についての知識・理解」はよい。資料活用の「技能」や「活用力（応用力）」に課題が大きい。基礎問題についてはほぼできているので、基礎力のアップや集中力のアップで学力の向上に努める。

中学校では、国語は「読む能力」にやや弱さがあるが、「話す・聞く力」は全国平均を大きく上回っている。

数学では、全国平均並みの結果となり、一昨年度より大きく改善が見られた。過去の課題であった「関数」領域で改善が見られたことや「基礎的な力」が定着していることがよい結果をもたらした。

英語では、全国・県平均ともに下回る厳しい結果ではあるが、指導力の向上や学校を挙げての学力向上に努めたい。

成果と課題では、中学校において「読解力」に若干の弱さはあるが、今まで苦手だった「書く力」に大きな改善が見られた。

また、家庭学習では、小学生は家での、自分で計画を立てて勉強するような主体的な学びが十分に身につけていない。中学生では宿題はするが、それ以上の自主的な学習は余りしない。

以上の結果を踏まえ、今後の学力向上への取り組みとして、結果の分析と課題について明確化、共有し、具体的な対策を検討・確認し、2学期から取り組む。

また、今後の学力向上に向けての取り組みについては、町教育委員会主導で研修会や先進地視察を継続実施する。また、家庭学習の重要性等を保護者に訴え、学校と家庭が協力して取り組みを進める。その他、「学力向上」をコミュニティ・スクールの取り組みの柱の1つに据えることや、具体的な取り組みについて専門家の指導を仰ぎ、成果に結びつける。

## 2、学習状況調査の結果について。

基本的な生活習慣では、小学生において、毎日同じ時刻に起きている比率が低いことがうかがえる。また、「将来の夢や目標を持っていますか」の質問については、小学生がポイントを下げた。

愛郷心・地域貢献意識では、地域とのつながりや地域への愛郷心の強さは従来からも高い状態である。

家庭学習習慣では、小学校では改善が見られるが、中学校では依然全国平均と大きな開きがあり、全町的に「家庭学習がんばり週間」の取り組み等を進めているが、授業と家庭学習をどうつなぐか、保護者にどう理解と協力を得るか、さら

なる具体的な方策が必要である。

3、まとめ。

2学期以降の具体的な取り組みや方策については、小学校では、徹底反復学習（竜王チャレンジタイム）の確実、かつ地道な取り組みと効果測定による改善を行う。また、授業改善につながる校内研究を推進する。

中学校では、集中力・学習意欲の向上と学習習慣の定着を目指す取り組みの実践、授業技術と教科指導力の向上を目指す授業改善を行う。

小・中学校ともに、基本的な生活習慣の確実な定着に係る家庭への啓発を行う。また、家庭学習の充実に係る啓発や学校からの具体的な取り組みを提示する。

次に、徹底反復学習「竜王チャレンジタイム（脳トレ）」の取り組みについて。

子どもたちの学ぶ力と生きて働く基礎学力を育むことを目的とし、陰山英男先生が推奨されている学習方法（陰山メソッド）を取り入れ、徹底反復学習「竜王チャレンジタイム（脳トレ）」として取り組み始めた。

学習方法は毎朝15分間、全学年・全学級で同時に一斉に取り組む。音読が5分、100ます計算が5分、漢字先取り練習が5分で、スピード、テンポ、タイミングを意識し、間をあげず、15分間集中し、人と比べず、自分の伸びを評価する取り組みを行っている。

期待される効果として、学ぶ力が高まる実感、自己肯定感の高まりや次の取り組みに向けた主体的な目標設定ができる力が向上する。

また、学校教育と社会教育の両輪での取り組みについて。

平成30年度の取り組みは、「教育フォーラム2018」や「家族会議の日」啓発広報誌の発行5回。今年度は、町PTA連絡協議会役員と「教育フォーラム2019」について協議や会議を行い、家庭学習の改善に向けた取り組みを協議している。

主な質疑応答。

問) 小学1、2年生の英語に関する授業は年間どれだけあるのか。

答) 低学年は、余剰時間を使って年間10時間程度の外国語活動を行っていますが、もう少しふやせるかと思っております。

問) 家庭学習をふやすための具体的な方策があれば聞かせてほしい。

答) 昨年度から取り組んでいるのが「家庭学習頑張り週間」です。中学校の定期テスト前の1週間は、家庭学習を頑張る期間として、全町的に小・中学校で取り組んでおります。特に、子どもたちが自主的に必然性を感じて取り組むことが

大事だと思っています。

問) ノートのとり方についての指導はしていますか。

答) 自主的に行う学習の中で、よいものを学校の掲示板で紹介する取り組みを小・中学校で行っています。各教科において、ノートのとり方を統一している場合もあります。また、小学校の低学年でICTを活用し、担任が書いている実物をスクリーンに映しながらリアルタイムに指導しており、ノート指導はどの学校でも力を入れて行っています。

問) 部活動をするときに、最低これだけの宿題、勉強をしないとされているそうだが、全校的にされているのか。

答) 申し合わせているわけではないですが、毎年夏休みには半日練習をして、その後、部活単位で勉強会をしていることが多くなっております。場合によっては、朝の涼しい時に部活をして、お昼あたりを勉強時間に組んで、夕方また部活動を再開するという2部制をとりながら、子どもの体調を配慮しながら行っています。

また、宿題の進捗度を部活単位でもチェックをして、担任に報告することもあります。若手教員もふえ、いい実践を進んで取り込んでいく機運が高まっています。

以上、教育民生常任委員会の所管事務調査報告といたします。

今回をもって教育民生常任委員会所管事務調査を終了しますが、今日まで各委員から出された意見や要望事項については、その趣旨を尊重され、実現に御尽力いただくことを強くお願いし、調査活動を終わらせていただきます。執行部の皆さん、御協力ありがとうございました。

**○議長（小森重剛）** ただいま各常任委員会委員長よりそれぞれ報告がございました。

この際、一括して、委員長報告に対して質問がございましたら、発言願います。

[「なし」の声あり]

**○議長（小森重剛）** ないようでありますので、各常任委員会委員長報告はこれで終結いたします。

議会運営委員会、総務産業建設常任委員会、教育民生常任委員会、各委員会の委員各位には、長期間にわたり広範多岐にわたる所管事務調査に鋭意お取り組みをいただき、大変御苦労さまでございました。この間における委員各位の活動に対し、衷心より厚く御礼申し上げます



## 日程第10 議員派遣について

○議長（小森重剛） 日程第10 議員派遣についてを議題といたします。

お諮りいたします。

会議規則第126条の規定により、お手元に配付のとおり議員を派遣することにいたしたいと思っております。

なお、緊急を要する場合は、議長においてこれを決定いたしたいと思っておりますが、これに御異議ございませんか。

[「異議なし」の声あり]

○議長（小森重剛） 御異議なしと認めます。よって、本件はそのように決定いたしました。なお、派遣された議員は、派遣の結果を議長まで報告していただきますようお願いいたします。

以上で、本日の議事日程は全部終了いたしました。

この際、町長より発言の申し出がございますので、これを認めることにいたします。

西田町長。

○町長（西田秀治） 令和元年第3回竜王町議会定例会の閉会に当たりまして、一言御挨拶を申し上げます。

議員各位におかれましては、提案させていただきました議案にかかわりまして、8月13日から30日までの18日間にわたり慎重なる御審議を賜り、全ての議案につきましてお認めをいただきましたことに、衷心より御礼を申し上げる次第でございます。

今、議場におられる第16期議員の皆様は、今期の4年間、住民皆様の福祉の向上や本町のあるべき姿、また、直面する課題に関しまして、さまざまな観点から議論を深めていただけてまいりました。議員の皆様からいただきましたまちづくりに対する建設的な御意見は、大変貴重なものであり、今後の行政経営に生かしていかなばならないと肝に銘じているところであります。

改めまして、議員各位の今期の議会活動に対しまして、厚く御礼を申し上げます。

9月15日には、竜王町議会議員一般選挙が執行される予定でございます。再度御出馬をいただく方々、また、後継者に道をお譲りになる方々等さまざまであらうかと存じますけれども、地方自治体を取り巻く環境が大きく変化をしている

中、本町が持続可能な自治体となるための大切な選挙になることを祈念し、住民の皆様のみちづくりへの関心や住民自治の意識が高まるよき機会となることを期待したいと思っております。

さて、8月15日に日本列島に強い勢力で上陸した台風10号は、雨を伴う猛烈な風が吹き、西日本を中心に被害が報告されたところでございます。また、その後の西日本から東日本での大雨による被害も、懸念をされているところでございます。

台風だけではなく、さまざまな被害を最小限に抑えるためには、日ごろから防災意識を高めておくことが非常に大切でございます。迎えます9月8日には、竜王町総合防災訓練を実施いたしますが、さまざまな防災体験を通して、自分の身は自分で守る、また、自分たちの地域は自分たちで守るという認識を持っていただくことが大変重要だと思っております。

最後になりましたけれども、まだまだ残暑厳しい折でございますので、くれぐれも健康には御留意をいただき、町政発展のため、引き続き御活躍いただきますよう御祈念申し上げます、閉会に当たりましての御挨拶とさせていただきます。まことにありがとうございました。

**○議長（小森重剛）** 閉会に当たりまして、一言御挨拶を申し上げます。

去る8月13日に開会いたしました今期定例会は、条例の一部改正、補正予算、平成30年度竜王町水道事業会計、並びに下水道事業会計決算認定、人事案件など重要案件が提出され、議員各位におかれましては、多忙の中、連日にわたり御出席賜り、提案されました重要な議案について終始慎重な御審議を賜り、本日ここに全議案を議了し、つつがなく閉会することができました。議長として厚く御礼を申し上げます。

また、執行部におかれましても、この間、適切なる対応をしていただき、まことにありがとうございました。

本会議、各委員会において、各議員が述べられました意見や要望事項につきましては、十分に尊重され、執行の上で十分反映されますようお願いする次第です。

顧みますと、平成27年10月、本会議場で皆様とお会いして以来、はや4年が経過しようとしております。この4年間には、国の内外でさまざまな事象がありました。

平成27年には、「アメリカとキューバの国交回復」、輸入関税を撤廃し、貿易の自由化を促進するため、12カ国による「環太平洋連携協定（TPP）交渉

が大筋合意」、スポーツでは、ラグビーワールドカップイングランド大会で「南アフリカを破る歴史的な勝利」、国内では、集団的自衛権の行使を可能とすることや、米軍への後方支援を拡大する等を柱とした「安全保障関連法案の成立」がありました。

平成28年には、イスラム国（IS）が関与したテロが頻発し、日本人も犠牲になりました。また、国内では、今の上皇が天皇の地位を皇太子様に譲る意向の「お気持ちを国民に向けて発表」、熊本県を震源とする震度7の地震により、150名超のとうとい命が失われた「熊本大地震」、現職のアメリカ大統領として初めて被爆地の広島を訪れ、平和記念公園で原爆死没者慰霊碑に献花された「オバマ大統領の歴史的訪問」がありました。

翌年の平成29年には、アメリカ大統領にトランプ氏が就任。また、北朝鮮の核ミサイル開発による大陸弾道ミサイルの発射実験が繰り返され、日本上空を越えて太平洋に落下しました。国内では、森友学園、加計学園問題、また、この年は近年にない台風上陸により、九州北部の豪雨、近畿・北陸縦断、東海・関東縦断、さらには日本列島縦断があり、大規模な土砂災害や多くの建物損壊と、国が激甚災害に指定されるほどの大災害ととうとい失われた年でした。

去年は、史上初めて北朝鮮とアメリカの首脳会談が実現されました。また、国内では、昨年以上に自然災害に見まわれ、大阪北部地震で小学生がブロック塀の倒壊で犠牲になられたことに始まり、平成最悪といわれた西日本豪雨により、220人を超えるとうとい命が失われ、それ以降8月のお盆前まで災害級の猛暑日が続き、最高気温41.1度を記録しました。そして、9月には台風により関西国際空港が浸水し閉鎖、そして、間なしに震度7の北海道地震により、道内全域が停電するブラックアウトも発生しました。

ほかには、残業時間の上限に罰則規定を導入する「働き方改革」や新残留資格を創設して、農業、建設等の他分野に外国人労働者を受け入れられる「改正出入国管理法」がスタートしました。

そして、ことしに入り、再び震度6の熊本地震、北海道地震があり、5月には「平成」から「令和」へと新元号が改められ、6月には関西での「おもてなし」によるG20大阪サミットが開催され、先月は、京都でアニメーション会社が放火され、35名ものとうとい命が失われました。

このように国外や国内での4年間を振り返ってみますと、国外ではアメリカを中心とした海外情勢であり、国内では、地震、豪雨、交通事故による悲しい出来

事が多くあった4年間に感じてなりません。

しかし、1つの光明として新元号「令和」が誕生したことで、日本中が改めて未来をよくするためのスタートを切った年でもあります。

本町では、特に平成28年9月の台風16号、平成29年9月、10月の台風18号、21号、昨年の8月から10月までの台風20号、21号、24号では、日野川、祖父川、新川をはじめとする堤防の決壊、損壊、家屋の床上、床下浸水や農業施設の損壊、道路の冠水など多くの被害が発生し、近年にない大きな災害の経験とともに、改めて災害への備えと減災への心構えの必要性について身をもって感じたところです。

こうした中で、行政と住民、そしてあらゆる機関、関係者が連携する総合防災訓練をはじめ、地域での自主防災訓練での取り組みがさらに工夫され、安全で安心なまちづくり、災害に強いまちづくりを進めるようになってきたことは言うまでもありません。

私ども第16期議員は、第五次総合計画後期基本計画と期を一にした4年間でもございました。この間、竜王ICを拠点としたまちづくりは、岡屋地先において滋賀竜王工業団地が着々と進み、7区画中4区画までが稼働や稼働に向けた契約が締結され、喜ばしい限りであります。残りの区画につきましても、早期に優良な企業誘致と操業を期待するところです。

また、長年の懸案でありました山面地先の工業団地についても、この4月に全区画が稼働に向けて契約が締結し、幾つかの企業が稼働しているところです。あわせて、近江八幡市新一般廃棄物処理施設に関する環境保全協定も、近隣自治会の御理解のもと締結できたことは、課題はあるものの、一步前進できたことでもあります。

そのほか、10年後を見据えたコンパクトシティ化構想、さらには30年後のグランドデザイン構想、地域力向上のための地域支え合いしくみづくり事業、来年度の整備完了に向けた災害時の町民への迅速な情報伝達としての防災行政情報システム整備、医科・歯科診療のあり方検討で前進した医科診療所の整備、住宅確保対策としての民家企業による住宅整備、スキヤキプロジェクト・道の駅モデル化によるブランドプロモーションや竜王かがみの里周辺拡充等の取り組みがされてきました。

教育においては、国スポのボルタリング競技会場地として決定、公民館来場50万人、英語教育の先進地、またスポーツ少年団、中学生による近畿大会、全国

大会への出場による優秀な成績、教育施設のあり方検討による2025年竜王小学校の開校予定など、社会教育・学校教育においても環境整備や多くの実績が残され、教育によい町として、さらに今後も期待するものです。

一方、学力についても、他市町に負けない恵まれた教育体制の中、より一層、学力向上に期待するものです。

しかし、一方で、農村下水道使用料の徴収漏れ、選挙の投票所入場券の使用用紙に一部誤り、竜王中学校教諭の交通事故等残念な結果もありました。このことは、西田町長をはじめ、公僕である職員の皆様方が日々の正しい業務の礎があつてこそ、住民の信頼と安心なまちづくりにつながるものと期待するものです。

私ども議会も、住民の負託に応えるためにみずからを律し、活動をしてまいりました。二元代表制の一翼を担い、住民の信託を受けた機関として意思決定を行うその役割と責任は、非常に重要なことから、住民にとって開かれた議会、情報発信と責任を果たすため、住民から信頼される、存在感のある議会を目指し、議会基本条例を推進するため議会報告会・懇談会にも取り組みました。

また、情報発信として定例会ごとに、住民の誰もが読んでもらえる視覚で伝える議会広報を発行し、町行政の動きを発信してまいりました。その結果、町村議会全国コンクールでは「編集・デザイン部門」奨励賞、「表紙写真」銅賞をいただくことができ、全国の市町村議会から広報編集について研修に来ていただける先進地の1つにもなったところです。

さて、議員各位には、本会議場において皆様と顔を合わせることも本日をもって最後となると思いますが、4年間の長きにわたり、竜王町議会の運営が円満に迎えられましたことを、皆様とともに喜びたいと存じます。

また、来る9月30日をもって任期が満了するところですが、引き続き審判を仰がれる予定の各位におかれましては、くれぐれもお身体を御自愛の上、当選の栄誉を得られますよう、御奮闘をお祈り申し上げます。

あわせて、今期をもって勇退される各位におかれましては、長年にわたる活動に敬意を表しますとともに、今後とも本町発展のために御指導、御協力あらんことをお願いする次第です。

いよいよ本日をもって、第16期議員として定例会の本会議場での会議は最後になります。高壇からではございますが、御支援、御協力いただきました町民の皆様方に対しまして、議회를代表して心から厚く御礼を申し上げますとともに、町民皆様のますますの御隆盛を御祈念申し上げます。

なお、この4年間、議員、並びに執行部各位には、温かい御指導と御協力を賜り、議長職を大過なく務めさせていただくことができましたことに、衷心より厚く御礼を申し上げます。まことにありがとうございました。

最後になりましたが、西田町長をはじめ、執行部の皆様、並びに議員各位のますますの御健勝と御活躍を心から御祈念を申し上げまして、閉会に当たりましての御挨拶とさせていただきます。長きにわたり、本当にありがとうございました。

これもちまして、令和元年第3回竜王町議会定例会を散会いたします。  
長期間、大変御苦労さまでございました。

閉会 午後2時22分

会議の経過を記載して、その相違ないことを証するためここに署名する。

竜王町議会議長 小 森 重 剛

議会議員 若 井 猛 志

議会議員 森 島 芳 男